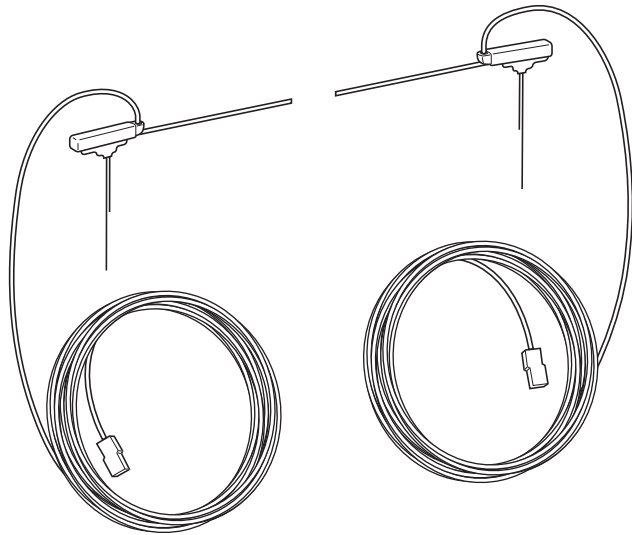


取付説明書

TU-DTV40/TU-DTX400専用 ダイバーシティアンテナ
(地上デジタル用：車室内フィルムタイプ)



本機はTU-DTV40/TU-DTX400の専用アンテナです。
TU-DTV40/TU-DTX400以外の地デジチューナに接続できません

- この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(2~4ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

気をつけていただく内容です。

警告

運転や視界の妨げになる位置
に取り付けない

前方・後方の視界の妨げになる位置など、運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。
禁止

取り付けには車両の保安部品の
ボルトやナットを絶対に使用
しないでください

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。
禁止

はずれたり・落下しないように、
しっかり取り付けてください


ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になります。

配線・取り付け／取り外しは、
専門技術者にご依頼ください


取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。
●安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

警告

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめてください


 車の電装品（ブレーキ・ライト・ホーン・ハザード・ウinkerなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しないでください

 煙りが出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。


●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解、改造はしないでください

 火災や感電の原因となります。


分解禁止

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れないでください

 感電の原因となります。


接触禁止

ケーブルクランパーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください


 あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

指定に従って正しく配線・取り付けをする

 説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。


エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない

 エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

禁止


警告

はり付許容範囲内に取り付ける

 国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法（はり付許容範囲内）にはり付けしないと、道路交通法違反となります。はり付許容範囲内については、本書の「はり付ける位置について」をご覧ください。


注意

車載用以外には使用しないでください

 車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


禁止

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください

 ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

必ず付属品や指定の部品を使用してください

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。


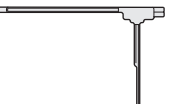



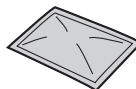
構成部品一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが付属されています。設置、接続の前にご確認ください。

()は個数です。

万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い上げの販売店や購入先までご連絡ください。

※TU-DTX400に同梱されたアンテナ部品は、下記部品数が×2となります。

<input type="checkbox"/> フィルムアンテナ [A] …… (1) 	<input type="checkbox"/> フィルムアンテナ [B] …… (1) 
<input type="checkbox"/> ケーブル付アンブ [A] (7m) ………… (1) 	<input type="checkbox"/> ケーブル付アンブ [B] (7m) ………… (1) 
<input type="checkbox"/> ケーブルクランプ ………… (6) 	<input type="checkbox"/> クリーナー ………… (1) 

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取付説明書のイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

次のようなところでは、映りにくいまたは、映らないことがあります

- 地上デジタル放送が行われていない。または、受信できない地域
- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立ちの影に入って走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近くを走行している場合
- ラジオ、アマチュア／業務無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信している場合
- 車両の搭載機器(※)が動作している場合ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。

※：電動ドアミラー、パワーウインドウ、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機、車載モニターなど。

お客様へのお願い

- このアンテナは、パナソニック車載用デジタルチューナー専用です。
- このアンテナはフロントウインドウはり付け専用です。フロントウインドウ以外の場所には、はり付けしないでください。
- はり付け・配線をするために、フロントウインドウ周りの内張り（ピラーカバー・ルーライニングなど）を一時的に取りはずす必要がありますので、ご了承ください。
- フィルムアンテナ、アンブ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスをふくなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 車種によって、取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車をお買いになった販売店に確認してください。
 - ・ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げになった販売店に確認してください。
 - ・エアバッグをピラーに搭載している車両には、取り付けできません。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくための、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

はり付ける際の留意点

一度はり付けると、エレメントの素子破損や粘着力が弱くなるため、はり直しできません。アンテナをはる前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してからはり付けてください。

- 必ずフロントウインドウの指定の位置・寸法内に正しくはり付けてください。
- サイドガラスやリヤガラスには、はらないでください。十分な受信状態が得られません。
- アンテナを接続する機器（デジタルチューナーなど）の説明書も併せてご覧ください。
- フロントウインドウ（内側）の汚れ（ごみ、ほこり、油など）や、くもり止めや水分などを付属のクリーナーできれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは、はり付けないでください。エレメントがはり付かなくなります。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- エレメントやアンプおよびケーブルクランプなど、フィルムやはくり紙などをはがした面には手でふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。汗や汚れまた静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いとき（20℃以下）は、はり付かなくなります。湿度が高いときは、エアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどではり付け部分を暖めて、結露しないことを確認してからはり付けてください。

■ ←取扱注意

本製品は、可能な限り破損しにくい設計になっていますが、フィルムアンテナという製品の性質上、やむを得ず十分な強度が得られない個所があります。本書では、そういった個所を ←取扱注意 で示しています。

このマークの個所は、絶対に、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじるなどしないでください。破損の原因になります。

仕様

受信チャンネル	UHF（13ch～62ch）
出カインピーダンス	50 Ω
エレメント全長	約85 mm
電源	DC 8 V（接続しているデジタルチューナーよりケーブルに重畳）
消費電流	30 mA×2
アンプリ得	13 dB以上（470 MHz）
周波数範囲	470 MHz～770 MHz
ケーブルの長さ	約 7 m
質量	片側 約 70 g（コネクター、ケーブル含む）
はり付け場所	フロントウインドウ

※仕様および外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更する場合があります。

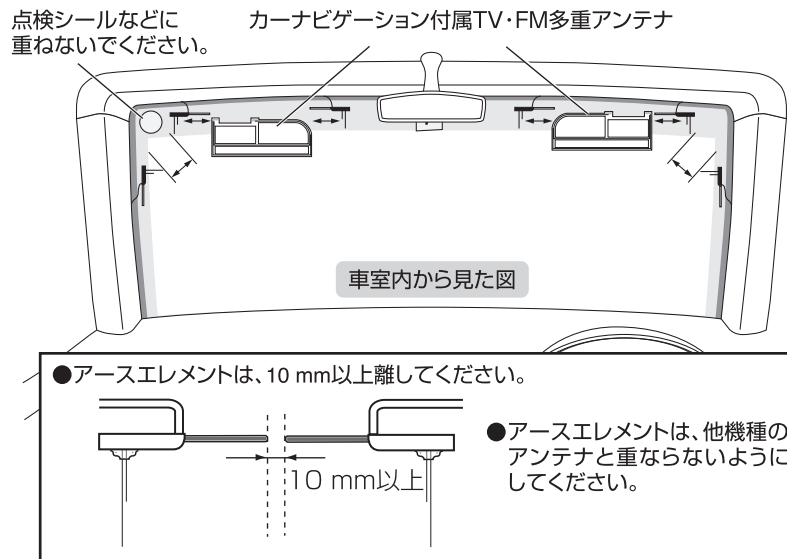
1. はり付け位置の確認-1

■ はり付ける位置について

- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンプ部は必ず下図のようにはり付けてください。
※ 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付けの運輸省(当時)告示第820号をいいます。
- 左ハンドル車にはり付ける場合も、下図のとおりにはり付けてください。
- フロントウインドウに、すでにフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
(指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。)
- 十分な性能を出すために上部から縦はりにする場合は、アンプ部はできるだけ上部に、またはピラー側から横はりにする場合は、できるだけピラー寄りにはり付けてください。

■ 各アンテナ間の距離

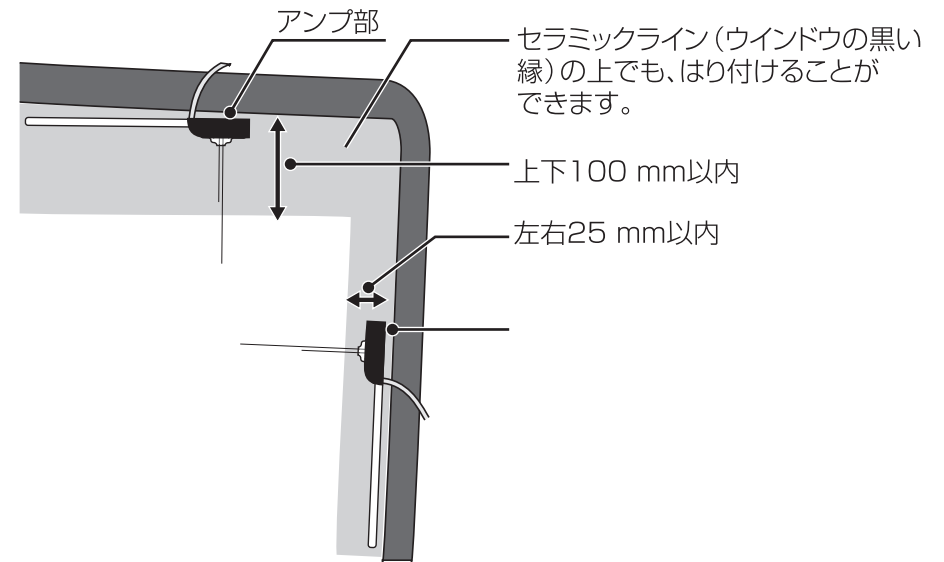
- 妨害感度低下を防ぐため、エレメントと他機種のアンテナ間は、最低でも6 cm以上(10 cm以上を推薦)離してはり付けてください。
左ハンドル車にはり付ける場合も、下図のとおりにはり付けてください。



1. はり付け位置の確認-2

■ アンプのはり付け許容範囲()について

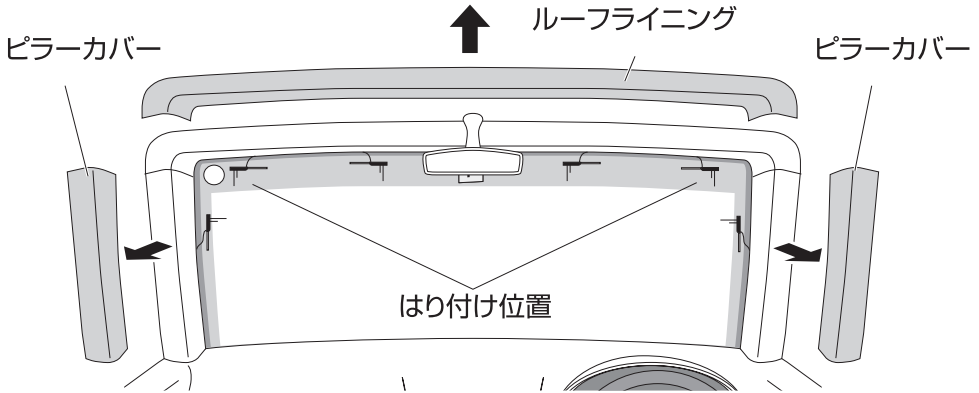
- アンプ部は、必ずはり付け許容範囲内にはり付けてください。
はり付け許容範囲外にはり付けると、国土交通省の定める保安基準に適合しません。



2.はり付けの準備

フロントガラスへのはり付け位置を決め、はり付け面をクリーナー（付属）できれいにふきとります。（ガラスが乾かないうちははり付けないでください。エレメントがはり付かなくなります。）

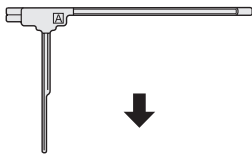
- 縦にはり付ける場合はルーフライニングを取りはずして、はり付け位置を確認してください。



- 実際の配線を想定して、フィルムやコード類を市販のテープで仮止めしてエレメントやアンプなどが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナはフロントガラス上部に4枚（TU-DTX400）または2枚（TU-DTV40）はり付けになります。

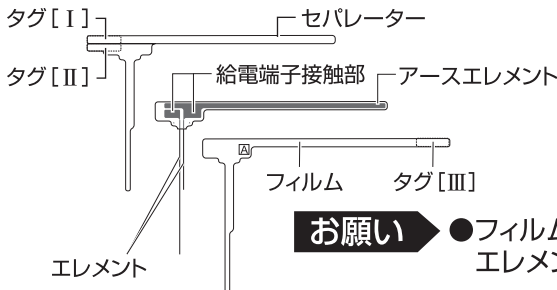
■アンテナの構造

- フィルムアンテナは、3層構造（下記参照）になっています。



- 左図はフィルムアンテナ [A] です。以降は [A] を例に説明します。

- フィルムとセパレーター間にエレメントがはさまれています。エレメントの広い部分が給電端子接触部です。



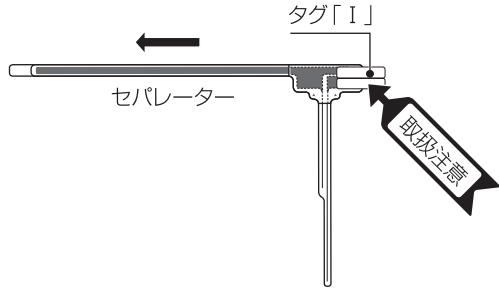
お願い

- フィルムを強く曲げたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。

3. はり付けかた

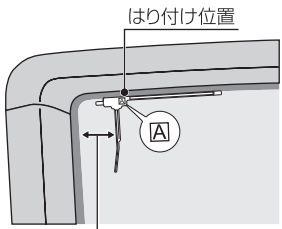
例：フィルムアンテナ[A]

① タグ「I」を持って左方向に
ゆっくりとセパレーターをはがす



② はり付け位置に、はり付ける

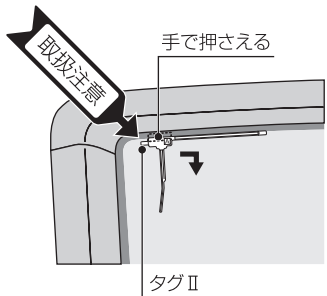
フィルムアンテナを引っくり返し、[A]のアンテナである
事を確認して、フィルムの端面をなるべくガラス面上部の
はり付け位置に合わせ、空気が入ったり、しわが寄ったり



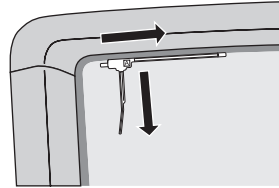
しないように注意して、
ゆっくりと端からはり
付けます。はり付け後、
エレメント上を強く
押えてエレメントを
ガラスに密着させます。

エレメントの横から車の金属部まで10 cm以上離してください。
※ピラー側から横向きにはり付ける時も同様に10 cm以上離して
ください。(フロントガラス上部から15 cm以内を推薦)

③ タグ「II」を持って下方方向にゆっくりと
セパレーターをはがしながら、はり付ける



④ 指か柔らかい布で矢印方向に強く
押さえながら、ガラスに密着させる

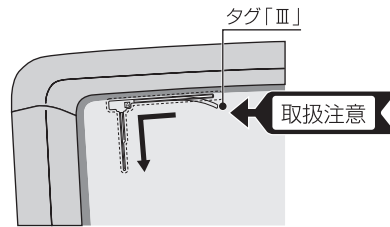


お願い

- エレメント部分の押えが不足すると、フィルムをはがす
時にエレメントがはがれる恐れがあります。給電端子
接触部は空気が残りますので念入りに押さえて
ください。
- はり付けた状態で車の外側からエレメント上に空気が
残っていないことを確認してください。空気が残って
いる場合は、その部分の空気を押し出してください。

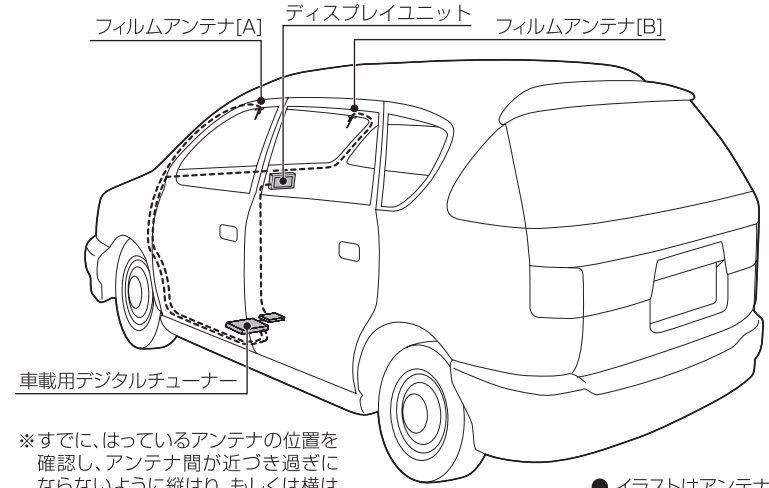
⑤ タグ「III」を持って矢印方向に
ゆっくりとフィルムをはがす

タグ「III」からゆっくりと、エレメントがガラス面にはり
付いていることを確認しながらはがします。フィルムと
共にエレメントもはがれる場合は再度フィルムをはり
付けてエレメント上を強く押してください。



お願い

タグ「III」以外のところからはがしたり、急にはがすと
エレメントが断線する恐れがありますので取り扱いに
気をつけてください。

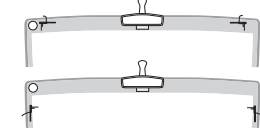


※すでに、はっているアンテナの位置を
確認し、アンテナ間が近づき過ぎに
ならないように縦はり、もしくは横は
りを組み合わせてください。

● イラストはアンテナを2本
はり付けたときの例です。

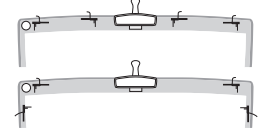
■アンテナを2本はり付ける場合

- 左右均等になるようにはり付けてください。
- 各アンテナ間は、なるべく離すように設置
してください。

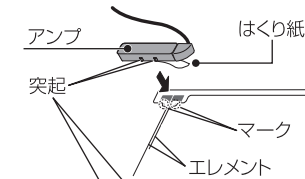


■アンテナを4本はり付ける場合

- 左右均等になるようにはり付けてください。
- 各アンテナ間は、なるべく離すように設置
してください。



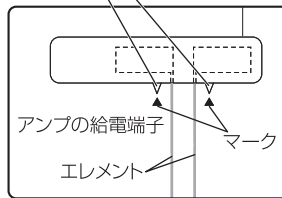
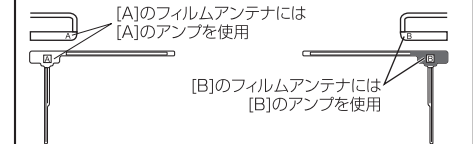
⑥ アンプをエレメントにはり付ける



アンプ[A]のはくり紙をはがして、エレメントの
給電端子接触部の小さなマーク(▲印)とアンプ
の給電端子の先端の突起を合わせてはり付けます。

重要

アンプとエレメントは必ず同じ表示の組み合わせで
使用してください。

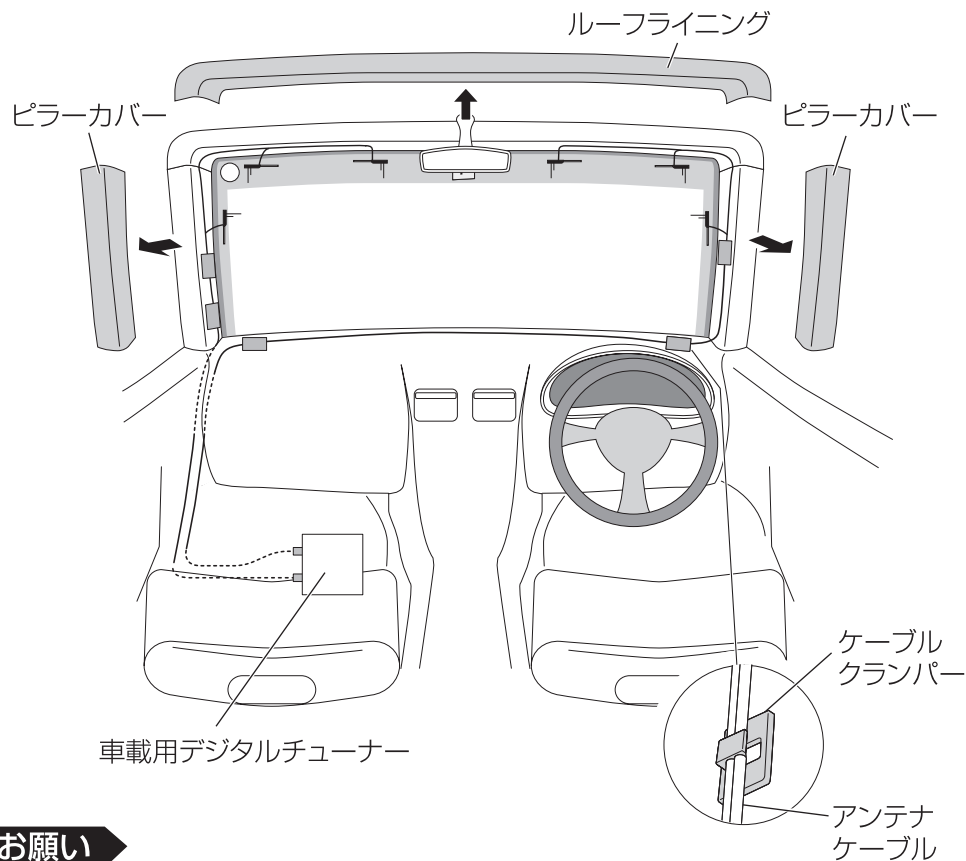


⑦ アンテナ[B]も手順①～⑥に従ってはり付ける

4. ケーブルの引き回し

■ 車室内から見たウィンドウ側のケーブル処理

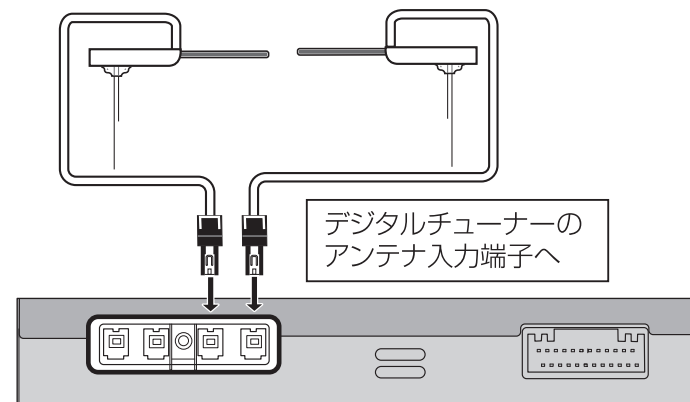
- 下図を参考にアンテナコードを引き回して配線してください。
- ルーフライニング・ピラーカバーをもとに戻してください。



お願い

- アンテナケーブルは、他のケーブルや電源コード類からはなしてください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。
- ケーブルはふまれたり、はさまれたりしない所を通し、ケーブルクランパーや市販のテープで固定してください。また、ケーブルのたるみなどは束ねて固定してください。
(いすを前後に移動してもケーブルが破損しないよう、ケーブルを引き回し、固定してください。)

接続のしかた



- アンテナはチューナーの、どの入力端子へ接続してもかまいません。
※ デジタルチューナーのイラストはTU-DTX400です。
TU-DTV40はアンテナ入力が2本になります。

※ 仕様および外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更する場合があります。